

はじめに

企業博物館の運営において来館者数は大きな活動指標です。2010年以降2万人の大台を割り込んでいたので、2014年度は来館者増加のための取り組みに力を入れました。ここ数年新規の展示を設置したり、各種イベントの様子をブログに掲載するなどしてきました。そこで新たにイベントの開催数を増やすと共にホームページをリニューアルし活動を分かり易く発信しました。このような活動が功を奏したためか、おかげさまで天候に恵まれたこともあり2万1千を超える来館者がありました(対前年15%増)。

来館し展示やイベントを楽しんでいただいたお客様の口コミにより、お客様の輪が広がることを期待しています。

企画展示は3ヶ月ごとに年間4回行っています。3回は収蔵資料を中心に行い1回はガス事業関係のものです。どれも充実した内容でお客様に好評でした。ガス事業関係については、2014年が東京・銀座にガス灯が灯って140年であることにちなんだ内容です。当時の様子を描いた錦絵が新聞やテレビに取り上げられました。収蔵資料関係では、井上安治が描いた東京名所を同じ場所から撮影した現在の風景写真と共に紹介する企画の第2回目も行いました。前年の第1回開催時におけるアンケートで、「各作品がどこなのか地図がないとわからない」という声が複数ありましたので、今回はYahoo!Japan様のご協力を得てそれぞれの作品に撮影場所を記した地図を掲示しました。ご覧いただいたお客様は東京を散歩した気分を味わえたと思います。

ガスミュージアムは資料を見学するだけでなく、お散歩途中の休憩場所であり、近隣のみなさんのくつろげる広場になれば良いと考えております。

このような活動を行うに当たり、地元である小平市の各施設とも連携を深め、小学生からシルバー世代まで幅広く地域の皆さんのお役に立つ施設になるよう努力してまいりますので、今後ともご支援をよろしく願いいたします。

2015年6月

GASMUSEUM がす資料館
館長 坂梨基彦